

能登半島地震災害支援ボランティアについて（第3報）



01

日本カトリック看護協会（JCNA）名古屋支部からの災害支援ボランティアは今回5回目になります。今回は7月18~20日の3日間サンタマリア勤務の看護師と私の2名で参加しました。2024年1月震災発災から既に1年半が経過しており「また行くの？まだ出来ることがあるの？」と言われることもありますが、能登にある市では家屋の公費解体申請の締め切りが迫り、解体するお宅の片付けやごみ出しの分別・運び出し作業が山積しているようです。私たちは午前中、仮設住宅の集会所でカリタスが月1回開催する『じんのびカフェ』でハンドマッサージをしながら傾聴活動をし、午後は家屋の片づけ作業に参加しました。片づけ作業は多くの人手が必要なうえ結果が明確なので成果が実感できます。

しかし、傾聴ボランティアは目に見える成果はなく私自身、本当に必要とされているのか少し気おくれしていました。今回『カフェ』に参加された方から「これからどうしていいのか分からない辛い時期に話を聞いてもらったり…話を聞いてもらってどうなるの？と思ったりしたけど話しているうちに不思議と【前向きにやってみよう】という気持ちが沸き起こってきたのよ。ありがとうね。それからは欠かさずカフェに来ているのよ」という気持ちを伝えてください、傾聴ボランティアとしての存在を力づけられました。

まだまだ生活の場の再建までは日にちがかかります。私たちの活動を理解し支援してくださる皆様に感謝致します。

ホスピス聖霊看護師 カトリック看護協会 鈴木 光恵

よろず相談窓口の移転について



02

この度、よろず相談窓口を1Fに移転しました。
下記内容でお困りの際にはお立ちよりください。
 ◎医療福祉相談 医療費や生活費に関する制度
 ◎入退院相談 在宅療養に関すること
 ◎受診に関するご相談
 ◎入院生活における悩みごと
 ◎当院から地域の医療機関への紹介に関すること
 ◎専門看護師、認定看護師への専門分野への相談など

場所：1階 救急外来待合前

担当者：地域医療連携センター看護師・MSW

相談時間：月～金 9:00～16:30 第2・4土曜日 9:00～12:00

地域医療連携センター センター長 斎藤 幸代

NST（栄養サポートチーム）稼働認定のご案内

当院は今年度より栄養サポートチーム稼働施設として認定されました。

NSTとは医師・看護師・管理栄養士・薬剤師など様々な専門職種が患者さんの栄養状態を改善し早期回復や合併症予防を目指した医療チームです。今回の認定はこれまでのNST活動を通して患者様に適切な栄養状態の維持向上に努めてきたことへの評価です。今後も新たな知識と技術を取り入れながら貢献できるよう取り組んでいきます。



NSTサポートチーム

03

新入職・就任のご案内



2025年7月に渡辺医師を迎えました。

内科

渡辺 隆

役 職：内科部長

専門領域：血液内科、

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫



事務部長 兼 医事業務課長
鈴木 信行

10月に事務部長に就任しました。
地域医療に貢献するため尽力いたします。よろしくお願ひいたします。

04

聖風

2025.11月号

発行責任者／院長 春田 純一 ●編集／総務課 広報係

社会福祉法人聖霊会
聖霊病院
HOLY SPIRIT HOSPITAL

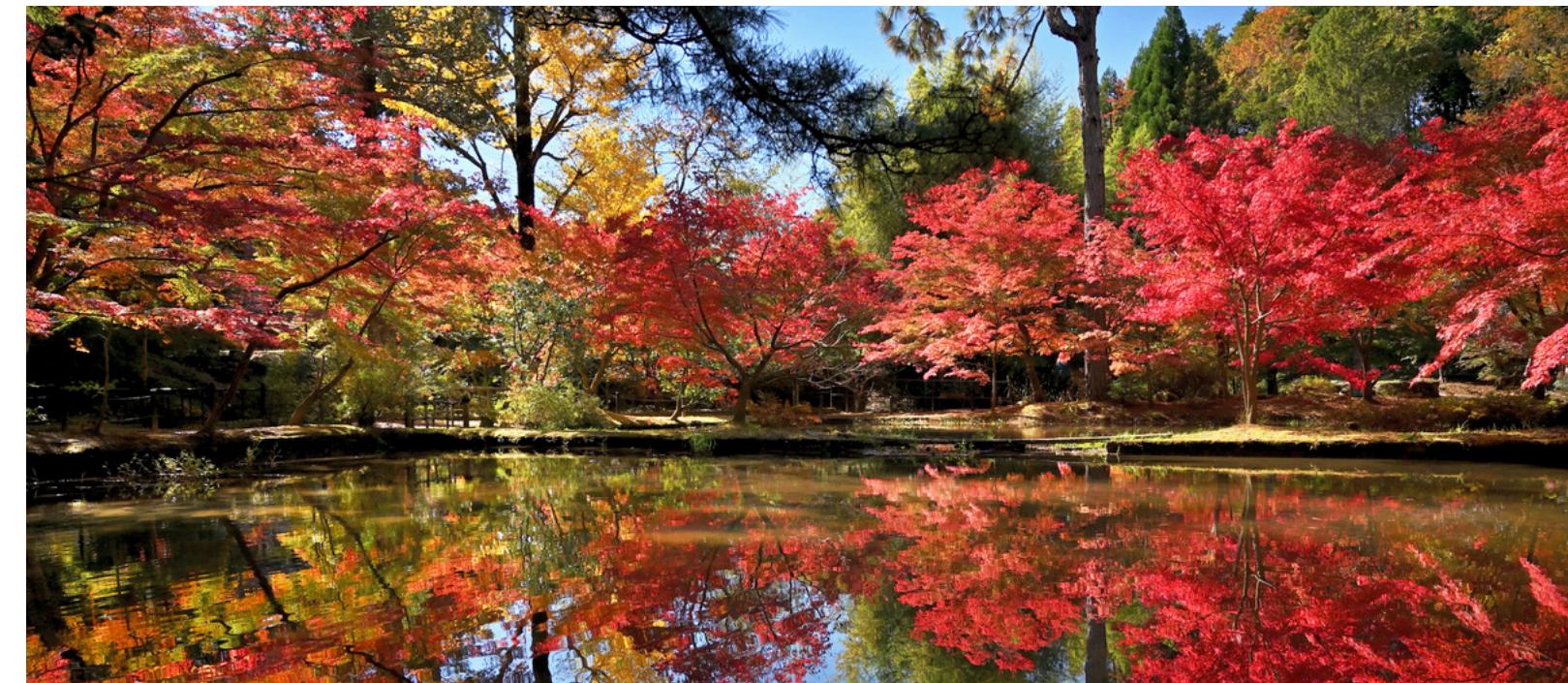
〒466-8633 名古屋市昭和区川名町56番地
Tel : 052-832-1181
<https://www.seirei-hospital.org>

理念

「愛と奉仕」
地域医療を通してキリストの愛
をもって人びとに奉仕します。

基本方針

- ・患者さん中心の思いやりのある医療を行います。
- ・人権尊重に基づいて患者さんの価値観に配慮した全人的医療に努めます。
- ・医療人として資質向上に努め、良質で安全な医療を実践し、信頼される病院をめざします。
- ・地域医療連携を推進し、地域の方々の医療と福祉の向上に貢献します。
- ・カトリック医療施設として、いのちの始まりと終わりを大切にします。



曾木公園（岐阜県土岐市）用度課課長 幾田 和男 撮影

分娩取扱い終了のご報告



院長
春田 純一

異常に暑かった夏もようやく終わりを告げ、初冬の気配すら感じられるようになりました。

当院は開院80周年を迎える節目の年になります。開院以来当院を象徴する産科医療ですが、12月末を持って分娩取り扱いを終了いたしました。日本の分娩数も減少の一途をたどり、30年間で120万人から70万人を切るまでに至っています。実に4割の減少になりますが、これからも減少の一途になることが予想されます。3年前にNICUを閉鎖して以来、当院での分娩も減少し続け、このまま安全に分娩を取り扱うことが困難になってきました。伝統ある診療科の縮小は本当に残念でありできれば回避したかったのですが、今回の決断に至りました。

当院で出産を考えてみえる方、すでに予定されている方々には非常にご迷惑をおかけすることになり本当に申し訳なく思っております。今後は日本赤十字社愛知医療センター名古屋

第二病院産婦人科と連携して、八事・いりなか地区の産科医療を滞りなく運営していきたいと考えています。当院でも引き続き妊婦健診、子宮がん検診、一般の産婦人科医療は継続する予定です。当院で対応が困難な方は日赤名古屋第二病院を始め近隣の高次医療機関に紹介させて頂く予定です。

残念で申し訳ない報告ですが、皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。

日赤名古屋第二病院の佐藤公治院長から次のようなお言葉を頂いています。連携しながら八事・いりなか地区的周産期医療を守って行きたいと思います。

『当院は聖霊病院と一緒に連携して、この地域を共に守ります。』

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長 佐藤 公治

25

専門職種からのアドバイス

紫外線から肌を守ろう！



紫外線には、しわやたるみなどの老化を起こす紫外線A波と、赤みやほてり日焼けやしみの原因となる紫外線B波があります。紫外線A波は、曇りの時には雲を、晴れの日には、窓ガラスを通り抜けてしまうため、直接日光が当たらない時でも紫外線対策が必要となります。

紫外線対策として、帽子や日傘で直接日光が当たることを防ぐ、日焼け止めを塗る、サングラスをかけることが有効とされています。目から入った紫外線の刺激が脳に伝わると、脳は「日差しが強い」と判断し、シミの原因であるメラニンを多く分泌するように指示するため、サングラスで紫外線を予防することはとても大切です。ただ、紫外線には、ビタミンDの吸収を助ける働きがあります。骨粗鬆症の予防には30分の日光浴が有効とされています。紫外線を予防することで健康な肌を保ち、適度に紫外線に当たることで、健康な骨を守りましょう。

患者支援室長 長崎 優子

健康診断でわかること



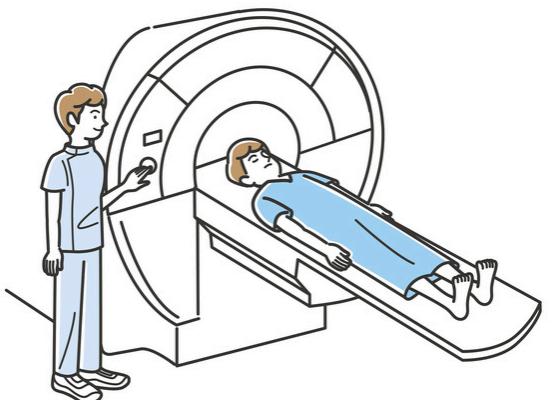
専門看護師・認定看護師が講師となり、毎月1～2回ミニレクチャーを開催しております。私は6月19日に健康診断についてミニレクチャーをさせていただきました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

健康診断は、健康状態を調べて病気の危険因子を早く見つけることができます。また、症状がないときから病気に気づくことができます。糖尿病などの生活習慣病や癌を早期発見して治療につながることで、合併症を防ぐことや治療の選択肢が多くなります。皆様も職場や自治体などの健康診断を受ける機会があるのでないでしょうか。ぜひ健康診断の機会を大切にしてください。

そして、健康診断の結果をもとに、指摘されたところはそのままにせず、かかりつけ医師に相談してください。当院に初めて受診する場合は、予約が必要になりますので、まずは電話で相談いただければと思います。

慢性疾患看護専門看護師 上野 聰子

人間ドックについて



聖霊病院では様々な種類の健診を実施しております。人間ドックのコースには、胃透視・胃カメラ・女性胃透視・女性胃カメラ・全身胃透視・全身胃カメラがあり、胃の検査を希望されない方は基本コースもございます。

他にも、脳ドックや大腸ドック（大腸CT）も実施しております。

ご自身の健康管理には人間ドックをお勧めします。もしかしたら血糖の値が少し高かった、なんてことがあるかもしれません。一度人間ドックで身体の状態をチェックしてみましょう。また、全身がん検査=DWIBS（ドウイブス）ドックもございます。MR検査のみなので、食事制限もなく、痛みのない検査です。

健診は自覚症状がない方が対象です。症状がなくても、病気にかかるリスクをお持ちかもしれません。早期発見・早期治療に繋げ、健康な人生を送りましょう。※人間ドック・DWIBSドックに関してはネット予約もございます。健診予約サイト「MRSO（マーソ）」をご確認ください。

医事業務課健診係 係長 鈴木 直子

お口のケアの必要性



お口のケアにはふたつの側面があります。ひとつは口の中を清潔に保つことです。口の中には何億個もの細菌が存在すると言われ、歯を磨かないと細菌の数は何倍にも膨れ上がります、口の中の細菌は虫歯の原因となるだけでなく、心臓病や認知症、誤嚥（ごえん）性肺炎など、全身に影響を及ぼす病気の原因となるため、歯磨きや歯周病の治療はとても大切です。

もうひとつの側面は口の機能を維持することです。あごやくちびる、舌や頬などものを食べることに関係する筋肉は50個近くと言われ、手足の筋肉と同様に使わないことで弱くなってしまいます。また、年齢を重ねることで筋肉が弱くなったり、飲み込むための反射などの機能が低下するためにむせやすくなったり肺炎を起こしやすくなったりします。「食べる時、話す時にしっかり大きく口を動かす」「口や顔などの体操やマッサージをする」「歯磨き・うがい」を意識的に行なうことがお口の機能維持に繋がります。

摂食嚥下障害看護特定認定看護師 横山 美由紀

食中毒を防ごう！



食中毒とは、細菌やウイルスが付着した食品を摂取することによって引き起こされる健康被害です。そのような食品を摂取することによって腹痛、下痢、おう吐（吐く）、発熱などの症状が現れます。暑い時期には細菌性の食中毒が多く発生します。食中毒を防ぐ三原則は、①細菌を食べ物に「つけない」②食べ物にいた細菌を「増やさない」③食べ物にいた細菌を「やっつける」です。そこで、細菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」方法を紹介します。「つけない」ために、外出後調理前には必ず手を洗いましょう。手についた菌を洗い流します。買い物の時には、魚や肉等の汁をほかの食材につかないためにビニール袋に入れましょう。「増やさない」ために、買い物から帰ってきたらすぐに食品は冷蔵庫に入れます。大量に買い物をした時は、小分けにして冷蔵、冷凍すると早く冷えます。「やっつける」ために、食材には火を入れます。中心温度が75度で1分以上の加熱が必要です。電子レンジで温めるときは、途中で一度食品をかき混ぜて均一に温まるようにしましょう。もし、生で召し上がるときは新鮮な食材を選んで買いましょう。

感染対策室 横越 貴子

電子レンジで簡単！ビタミンレシピ【豚肉と野菜の煮びたし】

材料（2人前）	
豚肉	160g
茄子	2本
オクラ	1袋
パプリカ	1個
他	お好みで大根おろし、大葉、鰯節など
調味料	塩ひとつまみ、ごま油大さじ1 麺つゆ（2倍濃縮）大さじ4 しょうがチューブ5cm

つくり方

- ①豚肉は茹でておく。
- ②茄子、オクラ、パプリカを食べやすい大きさに切る。
- ③耐熱容器に茄子、オクラ、パプリカの順に入れ、ごま油を回しかけ、ラップをして電子レンジ500～600Wで3分加熱する。野菜が硬ければ加熱を追加する。
※油を回しかけているため、ラップが張り付かないように注意！
- ④耐熱容器に豚肉と麺つゆとしょうがを加え、和える。



栄養科 大里 真央